

## 子どもの心に響く取組みを進めるために

### ○子どもを理解し、子どもの心に響く取組みを行うために、何をしていけばいいのでしょうか？

#### ありのままの子どもの姿を受けとめよう！

- ・学校での様々な場面（授業、遊び、友だち関係、部活動等）での子どもの表情や言動などの様子をしっかりと「見る」こと、また、日記や班ノートで、家庭や地域での子どもの日々の様子や心情などもつかむようにしましょう。
- ・子どもの発するサインには、子どもの本音や悩み、厳しい生活や学級の課題が含まれています。子どものちょっとした変化に注目し、子どものつぶやき、様子を見逃さないようにしましょう。
- ・子どもの日常の態度や行動の中に、どんな課題があるのかを把握・分析し、取組みを進めましょう。

#### 子どもたちにメッセージを送ろう！

- ・「困っている子に声をかけよう」
- ・「いじめは許さない」
- ・「教室はまちがうところだ」
- ・「対立はあって当然、みんなで解決していこう」など  
自分がめざしたい学級を自身のエピソードとともに具体的に語っていきましょう。学級だよりを使うことも効果的です。

#### 子どもたちとじっくり話し合おう！

- ・子どもが「わかってくれる友だちや先生がいる」という実感をもてるように、日常起こる問題を子どもたちと一緒に解決していきましょう。
- ・学級で起こる課題を解決するために、誰に、何を伝えたいのかをじっくり話し合いながら、子どもの思いを大切にしたい取組みを進めていきましょう。

#### 保護者や同僚との連携を進めよう！

- ・家庭訪問等で、直接、保護者の表情を見ながら言葉を交わすことで、保護者の願いや悩み、家庭での様子、関わり、成育歴などを把握しやすくなります。保護者と一緒に子どものことを考えようという姿勢で、連携を進めましょう。
- ・会議の場以外でも、パソコン作業や採点の合間に、教職員どうしで子どもの様子を話してみましょう。新たな子どもの気づきがあり、子ども理解を深めることにつながります。

このような取組みを丁寧に行うことで、子どもたちの自己肯定感や自己実現する力が育まれます。

### ある教職員のエピソード

「なぜこの子は、毎日遅れてくるの？」「なぜこの子は、こんなささいなことですぐ怒るの？」等々、「なぜ？」と疑問に思う場面が多々あります。学校で過ごす8時間だけを見ていると理解しにくい子どもの姿がそこにあります。教員になりたてのころ、思うようにならないことは、子ども自身のせいだと思おうとしたり、自分自身の力のなさだと思ったりしていました。

しかし、子どもたちと接する中で、次第にわかってきたものがあります。日々、「喜怒哀楽」を胸に学校へ来ているということ、心の中に耐えきれないほどのたくさんの辛いことや悩みを抱えている子どもがいるということでした。

子どもの言動にはすべて原因や個別の背景があると思います。何もなかったら「すぐに怒る」ことはないはずで、「なぜ？」の背景をしっかりと分析・理解することなしに課題解決はないと思うようになりました。

子ども理解のための詳しい方法や、班ノート、学級だより、家庭訪問などの実践事例など、大阪府教育センターのホームページからダウンロードできます。  
([http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers\\_1.html](http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers_1.html))



表面的な姿ではみえないもの（友だち関係や勉強や進路の不安や悩み、家庭や地域での生活の様子、ルーツ、障がい、性別の違和感等）を理解することで、子どもへの声掛けなどの関わり方が変わってきます。

## 子どもたちが安心して過ごせる学級づくり

～年間を通しての活動例～

### ●子どもたちが自分の思いを伝え、お互いのよさや違いを認め合うことができる学級づくりを進めることが大切です。

- ・子どもの発達段階に応じた系統性のある年間を通しての活動例や、すぐに使える教材や資料を紹介します。  
(Web ページからダウンロードできます)

### 子どもたちが安心して過ごせる学級とは？

子どもたちは、友だち関係や学習、家での出来事、進路や将来のことなど、様々な思いや悩みを抱きながら学校生活を送っています。

学級で、子どもたちが自分の思い（特に不安なこと）を伝え、解決していくためには、子どもたち自身が一人ひとりの意見をきちんと受けとめ、自分の経験を振り返って共感したり、お互いの考えを認め合ったりできる土壌が必要です。子どもたちが、「まちがっても大丈夫だ」「不安や悩みを受けとめてくれる人がいる」と思い、「ここには自分の居場所がある」と感じることができれば、安心して過ごせる学級となります。

### どのような取組みを進めればいいのでしょうか？

子どもたちが楽しく気軽にできる活動から始めましょう。活動後は、気付いたことを全員で話し合い、お互いの生活や価値観の違い、重なるところ、感じ方の多様さがあることを学べるようにします。

また、もめごとが起きても、非暴力で自分の気持ちや考えを表現するために、コミュニケーション力を育む活動も計画的に行いましょう。

子どもたちが、日々の活動で、自分やまわりの人を大切に思う気持ちを育み、お互いを信頼して、自分たちで課題を解決していく、そんな学級づくりを進めていきましょう。



すべての子どもが安心して過ごせる学級づくりのために [年間を通しての活動例]

- 教材等は、示している学年以外でも活用できます。その後の学年でも繰り返し使うことで、子どもが自身の考えの変化や、自分や他者の成長に気付くことができます。
- 子どもにヒットした活動は、学級会や終わりの会等で、年間を通して継続的に取り組んでみましょう。
- 表中の教材等の資料は、大阪府教育センターのホームページ ([http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers\\_1.html](http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers_1.html)) からダウンロードできます。

表中の教材等の表記について  
 ・『 』: 教材や実践事例  
 ・[ ]: 活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	安心できるクラスをつくろう					より深く仲間のことを知ろう					自分や仲間の成長を確認し、次年度への展望をもとう	
小学校 1～3年	<b>【新しい学級をスタートさせよう】</b> ・学級開き [安心ルールをつくろう] ・楽しく、気軽にできる活動を進める。 [あいこじゃけん] [ネコとネズミ] [鏡] [遊び]		<b>【コミュニケーション力を育もう】</b> ・自分の気持ちに向き合い、気持ちを出し合う活動を進める。 [いま どんなきもち] ・聞く、話す力を育む。 [コミュニケーションスキル]		<b>【学級の問題を解決しよう】</b> ・学級で気になることや、友だち関係の不安や悩みなどを出し合う(学級会、終わりの会等で継続的に行う)。 ・自分たちでもめごとを解決しようとする。 『わたしらもよせて』『こんなことないかな』『もやもや書き』『じゃんけんポン アイコでしよ』		<b>【お互いのよさや違いを認め合おう】</b> ・自分や友だちのよさに気付ける活動を進める。 [いいところさがし] 『みんなでほかほか』 [さいころトーク] [すごろくトーク]		<b>【学校や地域のことを伝え合おう】</b> ・学校たんけんや、まちたんけんを通して、自分の身近な地域のよさに気づき、伝え合う。 『歩道きょうができるまで』 『わたしの町やさしい町』		<b>【自分や仲間の成長を振り返ろう】</b> ・自分の生活を振り返り、成長した自分について考え、伝え合う。 『ゆっくりゆっくり』 『自分のことを見つめよう』 ・まわりの人とかかわりの中で、自分が成長してきたことを振り返る。 『おばあちゃんからのおくりもの』	
小学校 4～6年	<b>【新しい学級をスタートさせよう】</b> ・学級開き [安心ルールをつくろう] ・楽しく、気軽にできる活動を進める。 [さいころトーク] [すごろくトーク] [わりばしを支えよう] [誕生日チェーン] [遊び]		<b>【コミュニケーション力を育もう】</b> ・聞く、話す力を育む。 [ピアカウンセリング] ・自分の気持ちについて知り、気持ちの落ち着かせ方を学ぶ。 『感情のコントロール』 ・非暴力で気持ちを伝える方法を学ぶ。 『わたしメッセージ』 ・自分たちでもめごとを解決する力を育む。 『もめごととその解決』		<b>【学級の問題を解決しよう】</b> ・学級で気になることや、友だち関係の不安や悩みなどを出し合い、解決する方法を話し合う(学級会、終わりの会等で継続的に行う)。 ・学級の話し合いなどで、自分が感じたことを日記に書く。 ・友だちの思いを受けとめる。 『心の答え合わせ』『じゅん子のなかま』 ・いじめについて考える。 『いじめについて』『ことばと笑い』		<b>【お互いのよさや違いを認め合おう】</b> ・あるがままの自分を大切にできる気持ちを持つ。 『わたしのもちあじ』 ・お互いの価値観のちがいをわかり合い、共感できる活動を進める。 『ちがいのちがい』『大切な友だち』『大切にしたい権利』		<b>【うわさや偏見について考えよう】</b> ・事実と意見の違いに気付く。 ・物事に対して、自分の思い込みや決めつけがあることに気付く。 ・固定観念や偏見と差別の構造との関係について考える。 『カラスのイメージは?』		<b>【自分や仲間の成長を振り返ろう】</b> ・1年間を振り返り、自分やクラスの仲間の成長について話し合う。 ・自分たちの人間関係を振り返り、進級後も、どのような人間関係を築いていきたいかを考える。 『自分のことを見つめよう』 『ちがうことこそすばらしい』 ・まわりの人とかかわりの中で、自分が成長してきたことや、将来の夢などを家族や地域の人に発表する。 『かけがえない自分・仲間』	
中学校	<b>【新しい学級をスタートさせよう】</b> ・学級開き 『1年間の指導プラン』 [安心ルールをつくろう] ・体を動かして楽しみながらお互いのことを知り合える活動を行う。 [誕生日チェーン] [わりばしを支えよう] [さいころトーク] ・班活動や班ノートを通して、お互いの生活背景や思いを知る。 [班づくりの第一歩] [思いを重ね合う班ノート]		<b>【コミュニケーション力を育もう】</b> ・聞く、話す力を育む。 [ピアカウンセリング] ・非暴力で気持ちを伝える方法を知り、実際の場面で使おうとする。 ・自分の思いを表現し、相手の思いを受けとめる。 『どう伝えればいいでしょ』 『自分も相手も大切に(デートDV)』 ・自分たちでもめごとを解決する力を育む。 『まるごとのメッセージを伝えよう』		<b>【学級の問題を解決しよう】</b> ・ホームルームの時間などで、学級の課題について考え、解決する方法を話し合い、仲間とともに行動する。 [問題解決の4段階]		<b>【お互いのよさや違いを認め合おう】</b> ・あるがままの自分を大切に、まわりの人も大切にできる気持ちを育む。 『私のもちあじ』『自分を知る』 ・お互いの価値観のちがいや重なるところを知り、共感する活動を進める。 『大切にしたい権利』『結婚について』		<b>【いじめについて考えよう】</b> ・いじめについて考え、いじめを許さず行動できる力を育む。 『いじめはいらない』		<b>【自分の進路を考えよう】</b> ・権利について知り、法律などの知識を自分たちに役立つものとして認識する。 『わたしたちの世界人権宣言』 『育児休業を考える』 『働くときのルールを知ろう』 『統一応募用紙の意義について』 ・小中学校での学びを振り返り、自分の進路や生き方について考え、交流する。 ・保護者や在校生に向けて、自分の将来の夢や進路などを発表する。	

